

再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担当課：北海道開発局都市住宅課
担当課長名：小町谷 信彦

事業名 のほりべつおんせんどおり 登別温泉通	事業区分 街路	事業主体 北海道
起終点 自：北海道登別市登別温泉町 至：北海道登別市登別温泉町		延長 1.2 km
事業概要 登別温泉通は、全国有数の主要観光地の登別温泉に位置し、当温泉街と道央自動車道登別IC及び国道36号と接続する幹線道路である。当事業は、狭小な現道に替わり、新設ルートを整備することにより温泉街の交通渋滞の緩和を図り、地域の観光振興に寄与することを目的とした事業である。		
H3年度事業化	H2年度都市計画決定	H4年度用地着手
全体事業費 約148億円		事業進捗率 97%
計画交通量 5,800台/日		供用済延長 0.8km
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.2 (残事業) 19.5	総費用 (残事業)/ (事業全体) 3 / 182億円 (事業費: 3/181億円) (維持管理費: 0/1億円)
	総便益 (残事業)/ (事業全体) 62/ 212億円 (走行時間短縮便益: 53/184億円) (走行費用減少便益: 5/8億円) (交通事故減少便益: 3/20億円)	基準年 平成17年
感度分析の結果	交通量変動 : B/C=1.3 (交通量+10%) B/C=1.1 (交通量-10%) 事業費変動 : B/C=1.1 (事業費+10%) B/C=1.2 (事業費-10%) 事業期間変動 : B/C=1.0 (事業期間+20%) B/C=1.2 (事業期間-20%)	
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> 国土・地域ネットワークの構築（現道等における大型車すれ違い困難区間を解消） 個性ある地域の形成（主要な観光地へのアクセス向上が期待される） <p style="text-align: right;">他4項目に該当</p>	
関係する地方公共団体等の意見	地域の観光振興に寄与するものであり、登別市を始めとする関係3市4町1村で構成される室蘭地方総合開発期成会などや地元住民から、事業の早期完成が要望されている。	
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	平成12年度末に1工区820mを供用。平成16年度の観光入り込み客数は約332万人であり、外国人宿泊者数は全道でも上位。	
事業の進捗状況、残事業の内容等	狭隘な溪谷地形や温泉源等の現場条件や一部用地補償難航により時間を要したが、平成13年度から残る2工区365mの事業に着手しており、概ね予定通り実施している。	
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	温泉街の交通渋滞の緩和を図る事業の必要性については変化がなく、予定通り事業の推進を図り、平成19年度の事業完成を予定している。	
施設の構造や工法の変更等	埋設式ジョイントの採用による橋梁伸縮装置の見直しや、サンドイッチ軽量盛土工法の採用、建設発生土の事業間流用を行いコストの縮減を図っている。	
対応方針	事業継続	
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。	
事業概要図		

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。